

日程第7 議員提出議案第1号 TPP交渉参加反対に関する意見書について

○議長（中西峰雄君）日程第7 議員提出議案第1号 TPP交渉参加反対に関する意見書について を議題といたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。
21番 上久保君。

〔21番（上久保 修君）登壇〕

○21番（上久保 修君）皆さん、おはようございます。

議長のお許しをいただきましたので、TPP交渉参加反対に関する意見書の案を朗読をもって提案の説明とさせていただきます。

政府は、本年11月9日に包括的経済連携に関する基本方針、いわゆるEPAの基本方針を閣議決定いたしました。この中で、TPP（環太平洋経済連携協定）パートナーシップについて、交渉参加、不参加を先送りにしたものの、関係国との協議を開始すると判断したことは極めて遺憾であります。

TPPは、関税撤廃の例外を認めない完全自由化をめざす交渉であり、米国や豪州などの農林水産物輸出大国が参加すれば、日本の一次産業は壊滅し、地域経済・地域社会の崩壊を招くこととなります。本県、和歌山県では、温暖な気候や限られた農地を有効に活用し、果樹、野菜等を中心とした労働集約型の園芸農業を行うことにより、食料の安定供給や国土保全などの重要な役割を担ってきました。しかし、価格低迷や燃料高騰等生産コストの上昇、農業者の高齢化等により、本県、和歌山県の農業もかつてない厳しい状況に置かれております。

これ以上農林水産物の自由化が進めば、安

価な外国産の流入、氾濫により価格破壊が起こり、農業はじめ一次産業は壊滅的なダメージを受け、関連産業は衰退し、雇用機会が失われ、地域経済は崩壊する。

我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではありません。しかし、我が国は貿易立国として発展してきた結果、世界で最も開かれた農産物純輸入国となっており、食料自給率が著しく低下しております。

EPAは、交渉参加国の相互発展と繁栄を本来の目的とすべきでありまして、我が国がTPP交渉に参加しても、この目的は達成できません。

よって、国におかれては我が国の食料安全保障と両立できないTPP交渉に参加しないよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先は、衆参両院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣。

以上でございます。議員各位のご賛同、よろしく申し上げます。

○議長（中西峰雄君）説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）質疑がないようですので質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただ今議題となっております議員提出議案第1号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略したいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(中西峰雄君)ご異議なしと認めます。

よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

討論する方ありませんか。

12番 辻本君。

〔12番(辻本 勉君)登壇〕

○12番(辻本 勉君)議員提出議案第1号について反対の立場から討論いたしたいと思えます。この趣旨については、私も十分理解するところではありますけども、農業従事者の中にもさまざまな意見があります。特に、若手の農業従事者についてはこのことに対して何ら抵抗を感じていないということである報道されておりますし、まだまだ議論の必要があるのではなかろうかなと思えますし、このTPPの問題を含めまして、日本の農業政策全般について、やはり大きく議論というか、大きく変換をしていく見直す時期に現在あるのではないかなと、このように考えます。現時点では、やはり国の動向を見ていくべきではないでしょうか。TPP問題については、過日の経済建設委員会にも陳情書がある団体が出されておまして、その中でも時期尚早であるということで、今回については見送るというような結論が出されております。私は、経済建設委員会のこの結論をやはり尊重すべきであると、このように考えておりますので、本議案については反対といたします。

○議長(中西峰雄君)ほかにありませんか。

2番 阪本君。

〔2番(阪本久代君)登壇〕

○2番(阪本久代君)TPP交渉参加反対に関する意見書について、賛成の立場から討論を行います。

TPPは、例外なしの関税撤廃を原則としています。日本の農産物の平均関税率

は11.7%とEUの19.5%、韓国の62.2%より低く、アメリカの5.5%に次ぐ低さです。関税率の低さが日本農業の疲弊の主な原因です。TPP参加は、それに追い討ちをかけます。農林水産省の試算でも、食料自給率は40%から13%に、農業の多面的機能は3兆7,000億円程度喪失、関連産業への影響は、国内総生産で8兆4,000億円程度減少、350万人程度の就業機会の減少など、農業だけではなく地域社会も壊滅的な打撃を受けます。日本でTPP参加を求めているのは、日本経団連、中でも自動車、電機などの輸出大企業です。TPPに参加した場合、国内総生産の増加は実質0.48%から0.65%とわずかです。一部の輸出大企業の利益のために、農業もそれにつながる地域社会もめちゃくちゃになるということです。世界では、食料主権を保証するルート確立を求める流れが広がっています。TPPは、この世界の流れに逆行します。また、内閣府の世論調査で、食料自給率の引き上げを求める人は9割を超えています。圧倒的国民は輸入に頼らず、安全で安心な食料は日本の大地からと願っています。TPP参加は、国民の願いにも逆行します。

以上のことによりTPP交渉参加に反対をいたします。よって、この意見書案を提出することに賛成であります。

以上です。

○議長(中西峰雄君)ほかにありませんか。

4番 松浦君。

〔4番(松浦健次君)登壇〕

○4番(松浦健次君)私は、本意見書に賛成の立場から討論します。

確かに、日本の国情としては、貿易立国として世界の中で物を買ってもらわんと生きていけないと、そういう状況にあります。だから、大きな流れとしては、こういう時代の流れとしては参加する可能性というか、ゆくゆく

くは参加することが否が応でものまざるを得ないというような日本の国情であると思いません。しかし、今、参加することによって大きな弊害が目に見えていると。その目に見えている弊害に対してどういう補いをもって、できるだけショック、マイナスのショックが小さい形で補えるか、小さい形に押さえ込めるかというある程度の手立てを講じた上で交渉に参加するというような流れをつくるべきで、何の用意もしてないときにすぐに賛成、交渉に入るということは大きな禍根を残すと思います。したがって、できるだけ早く、私も参加する必要は認めますけれども、これまた、農業に対する打撃のほうを最小限に食い止める手立てを果敢に行った上でやるべきだと思います。現時点で参加するのは反対です。

以上です。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ないようですので、これをもって討論を終結いたします。

これより、議員提出議案第1号 TPP交渉参加反対に関する意見書について を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（中西峰雄君）暫時休憩いたします。

（午前10時14分 休憩）

（午前10時43分 再開）

○議長（中西峰雄君）休憩前に引き続き会議を開きます。

本案につきまして、起立により採決を行いました。起立者の多少が判然といたしません。よって、会議規則第70条第2項の規定により、本案については無記名投票をもって採決いたします。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

○議長（中西峰雄君）ただ今の出席議員数は22人です。

投票用紙を配付いたします。

（職員 投票用紙配付）

○議長（中西峰雄君）投票用紙の配付もれありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）配付もれなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

○議長（中西峰雄君）異状なしと認めます。

念のために申し上げます。本案を可とする諸君は賛成と、本案を否とする諸君は反対と記載の上、点呼に応じて順次投票願います。

なお、重ねて申し上げます。投票中、賛否を表明しない投票及び賛否の明らかでない投票は、会議規則第73条第2項の規定により、否とみなします。

点呼を命じます。

○議会事務局次長（中谷 勉君）それでは点呼を行います。

1番 岡 弘悟議員	2番 阪本久代議員
3番 富岡清彦議員	4番 松浦健次議員
6番 清水信弘議員	7番 中谷和史議員
8番 岡本昌次議員	9番 上田良治議員
10番 松本健一議員	11番 岩田弘彦議員
12番 辻本 勉議員	13番 瀧 洋一議員
14番 土井裕美子議員	15番 石橋英和議員
16番 中谷 晋議員	17番 山田哲弥議員
19番 中本正人議員	20番 中上良隆議員
21番 上久保修議員	22番 楠本知子議員
23番 井上勝彦議員	24番 中西 健議員

○議長（中西峰雄君）投票もれありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）投票もれなしと認めます。

す。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

(議場閉鎖)

○議長(中西峰雄君) 開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に1番 岡君、2番 阪本君、7番 中谷和史君、以上3人を指名いたします。

よって、3人の立ち会いを願います。

(立会人 所定の位置につく)

○議長(中西峰雄君) 開票は職員にいたします。

(職員 開票)

○議長(中西峰雄君) それでは、投票の結果を報告いたします。

投票総数22票、これは先ほどの出席議員数に符合いたしております。そのうち賛成10票、反対12票。

以上のとおり、反対が多数であります。

よって、議員提出議案第1号は否決されました。

○議長(中西峰雄君) この際、報告いたします。

総務委員長、経済建設委員長、文教厚生委員長及び議会運営委員長から委員会において審査及び調査中の事件につき、会議規則第104条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査及び調査をいたしたい旨の申し出があります。

お諮りいたします。

委員長申し出のとおり、閉会中の継続審査及び調査に付することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(中西峰雄君) ご異議なしと認めます。

よって、委員長申し出のとおり、それぞれ閉会中の継続審査及び調査に付することに決しました。

○議長(中西峰雄君) 以上で本日の日程は終わりました。

これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

○議長(中西峰雄君) 閉会にあたり、市長から発言の申し出がありますので、市長の発言を許します。

市長。

〔市長(木下善之君) 登壇〕

○市長(木下善之君) 本日、平成22年12月市議会定例会の閉会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。

議員の皆さまには、11月29日より本日まで真摯なご審議やご協議を賜り、上程いたしましたすべての案件につきましてご同意をいただきました。誠にありがとうございました。

早いもので、平成22年も残すところ10日余りとなってまいりました。議員の皆さまには、本市行政各般にわたりまして、ご協力とご指導を賜り深く感謝申し上げますとともに、この1年のご労苦に心から御礼を申し上げます。

さて、低迷する経済情勢を受け、国におきましては円高、デフレ対応のための緊急総合経済対策として、平成22年度補正予算で地域活性化交付金を創設いたしました。本市にはきめ細やかな交付金、住民生活に光を注ぐ交付金、合わせて約1億円が第一次交付金限度額として内示がございました。大変ありがたく思っておりますのでございまして、このため、来年1月下旬に臨時議会を招集させていただきまして、関連事業予算のご審議を賜りたく考えておりますので、その節はどうぞよろしくお祈りを申し上げます。

これから、日増しに一層寒さが厳しくなる折、議員の皆さまにおかれましては、ご自愛いただきまして、ご家族おそろいで良きお年

をお迎えくださいますようご祈念申し上げますとともに、議員の皆さまには、来年は特に希望の年であられますよう、心から念じまして、閉会のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（中西峰雄君）ありがとうございました。

本日、平成22年最後の定例会であります。12月定例会の閉会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

今期定例会は、11月29日に開会され、各議案につきまして熱心にご審議をいただき、本日ここに無事閉会できますことを心からお礼申し上げます。当局におかれましては、今定

例会において成立いたしました諸議案の執行にあたり、困難な財政事情のもとにありながらも市政各般における向上を期し、さらに一層の熱意と努力を重ねていただきますよう強く要望する次第であります。

年の瀬も迫り、寒さも一段と厳しくなってきました。議員をはじめ、当局職員各位におかれましては健康に十分ご留意いただき、市政進展のために一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。閉会のごあいさつといたします。

これにて、平成22年12月橋本市議会定例会を閉会いたします。

（午前11時00分 閉会）